



## 平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 カワニシホールディングス  
 コード番号 2689 URL <http://www.kawanishi-md.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 野瀬 洋輔  
 (氏名) 高井 平

TEL 086-245-1112

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年6月期第3四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成24年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	55,184	17.1	766	37.0	745	38.5	334	12.6
23年6月期第3四半期	47,130	4.9	559	13.2	538	14.6	297	22.3

(注) 包括利益 24年6月期第3四半期 297百万円 (△3.5%) 23年6月期第3四半期 307百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	59.67	—
23年6月期第3四半期	53.01	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年6月期第3四半期	30,836	2,280	7.4	406.50
23年6月期	20,402	2,039	10.0	363.55

(参考) 自己資本 24年6月期第3四半期 2,280百万円 23年6月期 2,039百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年6月期	—	0.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,836	18.8	717	20.9	690	20.1	305	△2.2	54.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) サンセイ医機株式会社 、 除外 1社 (社名)  
詳細は、4ページ2. サマリー情報(その他)に関する事項をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期3Q	6,250,000 株	23年6月期	6,250,000 株
24年6月期3Q	639,126 株	23年6月期	639,126 株
24年6月期3Q	5,610,874 株	23年6月期3Q	5,610,933 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、4ページ1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は551億84百万円（前年同期比 17.1%増）、連結経常利益は7億45百万円（前年同期比 38.5%増）、連結四半期純利益は3億34百万円（前年同期比 12.6%増）となりました。

なお、連結四半期純利益の増益率が連結経常利益の増益率より25.9ポイント低いのは、主に以下の2つの理由によるものです。

- ① 前期の第1四半期連結累計期間に、子会社の合併に関して税効果会計を適用し繰延税金資産を計上した。
- ② 当第2四半期連結累計期間に、法人税法が改正され法人税率が引き下げられたため、繰延税金資産を取り崩した。

セグメントごとの業績は、次の通りであります。

#### 〈医療器材事業〉

手術関連消耗品は、引き続き順調に成長を継続しております。特に、商権獲得が進んだ島根、兵庫、香川、徳島の売上高は前年同期比で10%超の増収となりました。その他、本年1月より連結対象となったサンセイ医機株式会社（郡山市）の売上が加わり、手術関連消耗品全体の売上高は前年同期比140.0%となりました。

整形外科関連商品は、手術件数が低調だったことに加え、昨年6月に株式会社カワニシ広島支店が受けた行政処分の影響が売上高を押し下げました。その一方で、島根、愛知、関西地域（奈良、大阪）、道東（北海道帯広・釧路地域）でのシェアアップが進みました。また、手術関連消耗品と同様に、サンセイ医機の売上が加算され、整形外科関連商品全体の売上高は前年同期比109.4%となりました。

循環器関連商品は、前期に心臓カテーテル検査治療関連の大型設備機器を受注した反動もあり、設備関連の売上高は35.8%減少しました。しかし消耗品は、新規顧客開拓が成功した山口での売上が大きく伸びた他、昨年5月に発売された薬剤溶出ステント及び不整脈治療関連商品も売上高を押し上げました。これにサンセイ医機株式会社の売上が加わった結果、循環器関連商品全体の売上高は前年同期比107.5%となりました。

その他、眼科関連商品も売上高が前年同期比120.9%と好業績を上げました。前期に大型設備・備品の販売があったことの反動により、売上高の伸びは抑えられましたが、全体では、サンセイ医機株式会社の業績加算により、大幅な増収となりました。また利益面では、人員増に伴う販売費及び一般管理費の増加がありましたが、売上総利益率の改善及びサンセイ医機株式会社の業績加算により、売上高同様大幅な増益となりました。その結果、医療器材事業は、売上高464億2百万円（前年同期比 15.4%増）、営業利益7億79百万円（前年同期比 39.2%増）となりました。

#### 〈ライフサイエンス事業〉

免疫系試薬の新製品が発売されたことに伴い、いくつかの急性期大病院において、これまで外部に委託していた検査の一部を自らの病院内で行うようになりました。これによって同製品の販売が大きく伸びました。それに加え、検査室の機器買い換え案件も複数受注したため、診断薬領域の売上高は前年同期比116.1%となりました。

基礎研究領域の売上高は、科学研究費の3割削減計画（現在、撤回されております）の影響から岡山では売上が停滞しましたが、昨年12月頃から徐々に回復したことに加え、遺伝子や代謝反応の解析の窓口受託が増加し、前年同期比103.3%となりました。

一方利益面は、低利益商品の販売比率が増加したことに加え、販売管理システムの更新による販売費及び一般管理費の増加が利益を押し下げました。

その結果、ライフサイエンス事業は、売上高36億68百万円（前年同期比 7.1%増）、営業損失9百万円（前年同期 営業利益25百万円）となりました。

#### 〈SPD事業〉

医療材料の一括購買窓口を受託した施設数が増加したため、売上高が大きく伸びました。

その結果、SPD事業は、売上高69億39百万円（前年同期比 42.5%増）、営業利益51百万円（前年同期比 84.8%増）となりました。

#### 〈介護用品事業〉

営業拠点の新設により、迅速な対応によるサービス力の向上を図ったほか、営業エリアを拡大しました。この効果も加わり、在宅ベッドの新規レンタル契約が大きく増加しました。

その結果、介護用品事業は、売上高5億99百万円（前年同期比 16.2%増）、営業利益35百万円（前年同期比 6.6%増）となりました。

なお、「介護用品事業」は前期まで「その他事業」と表示しておりましたが、当期よりセグメント名を変更いたしました。詳細は、「（4）セグメント情報等」を参照ください。

### （2）連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は308億36百万円となり、前連結会計年度末と比べ104億33百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が22億11百万円、受取手形及び売掛金が63億75百万円、商品が7億64百万円それぞれ増加したことによるものであります。

また、負債は285億55百万円となり、前連結会計年度末と比べ101億92百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が69億28百万円、短期借入金が22億89百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

なお、資産及び負債の金額が前連結会計年度末と比べ著しく変動しているのは、平成24年1月4日付けで、サンセイ医機株式会社及びサンセイ・メディック株式会社を連結子会社化したことなどによるものです。

純資産は22億80百万円となり、前連結会計年度と比べ、2億40百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益により3億34百万円増加した一方で、配当金により56百万円、その他有価証券評価差額金により37百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、2.6ポイント減少し、7.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年1月4日にサンセイ医機株式会社の株式を100%取得し同社及び同社の100%子会社であるサンセイ・メディック株式会社が連結対象となったため、同年1月31日に公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」において当該通期業績予想は未定としておりましたが、同社及び同社子会社の当社通期連結業績に与える影響について精査が終了し詳細が確定したため、通期連結業績予想を修正しております。その内容につきましては、平成24年5月8日に公表しております「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成24年1月4日の株式取得に伴い、サンセイ医機株式会社を当第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

また、サンセイ医機株式会社を子会社化したことにより、同社の子会社であるサンセイ・メディック株式会社は当社の連結子会社となったため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,091,945	5,303,501
受取手形及び売掛金	10,482,676	16,858,476
商品	2,692,088	3,456,459
その他	821,847	636,612
流動資産合計	17,088,558	26,255,050
固定資産		
有形固定資産	2,253,633	2,906,733
無形固定資産		
のれん	208,149	503,826
その他	132,256	153,265
無形固定資産合計	340,405	657,092
投資その他の資産	720,323	1,017,599
固定資産合計	3,314,361	4,581,425
資産合計	20,402,920	30,836,475
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,894,807	20,823,454
短期借入金	2,094,926	4,384,214
未払法人税等	190,577	250,679
その他	812,224	911,167
流動負債合計	16,992,535	26,369,515
固定負債		
社債	—	60,000
長期借入金	638,953	1,055,568
退職給付引当金	95,015	324,765
役員退職慰労引当金	553,906	622,547
その他	82,674	123,260
固定負債合計	1,370,549	2,186,142
負債合計	18,363,084	28,555,657
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	607,750	607,750
資本剰余金	343,750	343,750
利益剰余金	1,868,502	2,147,189
自己株式	△834,099	△834,099
株主資本合計	1,985,902	2,264,589
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,933	16,227
その他の包括利益累計額合計	53,933	16,227
純資産合計	2,039,835	2,280,817
負債純資産合計	20,402,920	30,836,475

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
売上高	47,130,643	55,184,004
売上原価	42,129,531	49,292,521
売上総利益	5,001,112	5,891,483
販売費及び一般管理費	4,441,612	5,125,159
営業利益	559,500	766,323
営業外収益		
受取利息	1,370	1,966
受取配当金	1,571	1,124
持分法による投資利益	168	628
その他	12,506	15,478
営業外収益合計	15,617	19,197
営業外費用		
支払利息	34,669	38,262
その他	2,145	1,592
営業外費用合計	36,814	39,854
経常利益	538,303	745,666
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,656	—
有形固定資産売却益	—	964
受取補償金	—	11,047
特別利益合計	4,656	12,011
特別損失		
有形固定資産除却損	2,244	7,679
投資有価証券評価損	—	4,326
商品評価損	—	46,428
特別損失合計	2,244	58,433
税金等調整前四半期純利益	540,715	699,244
法人税、住民税及び事業税	148,510	310,516
法人税等調整額	94,771	53,931
法人税等合計	243,282	364,448
少数株主損益調整前四半期純利益	297,432	334,795
四半期純利益	297,432	334,795



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	297,432	334,795
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,309	△37,705
その他の包括利益合計	10,309	△37,705
四半期包括利益	307,742	297,090
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	307,742	297,090
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	ライフサイ エンス事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	38,431,959	3,407,138	4,776,190	515,354	47,130,643	—	47,130,643
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,780,961	16,802	93,219	213	1,891,198	△1,891,198	—
計	40,212,920	3,423,941	4,869,410	515,568	49,021,842	△1,891,198	47,130,643
セグメント利益	560,119	25,858	28,116	33,447	647,542	△88,041	559,500

(注)1 セグメント利益の調整額△88,041千円には、セグメント間取引消去1,128千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△89,170千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	ライフサイ エンス事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	44,095,076	3,647,455	6,842,575	598,895	55,184,004	—	55,184,004
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,306,967	21,173	96,742	292	2,425,174	△2,425,174	—
計	46,402,043	3,668,629	6,939,318	599,188	57,609,178	△2,425,174	55,184,004
セグメント利益 又は損失(△)	779,777	△9,830	51,966	35,640	857,554	△91,231	766,323

(注)1 セグメント利益の調整額△91,231千円には、セグメント間取引消去8,999千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△100,230千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費であります。

- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 前連結会計年度の末日に比べて、当第3四半期連結会計期間末の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。これは平成24年1月4日付けでサンセイ医機株式会社及びサンセイ・メディック株式会社を連結子会社化したことに伴い、同社の資産を報告セグメント「医療器材事業」に計上したことによるものであります。前連結会計年度に比べて増加したセグメントの資産の金額は「医療器材事業」が7,756,282千円であります。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結累計期間より、昨年度まで「その他」に含めておりました「介護用品事業」を独立したセグメントとして表示しております。これは「介護用品事業」において組織体制の変更があり、積極的な出店を行った結果、売上高、セグメント利益とも増加が見込まれることから、グループにおいて「介護用品事業」の重要性が高まったことによるものであります。

なお、報告セグメント「その他」の区分には「介護用品事業」しか属していなかったため、第1四半期連結累計期間の表示区分より削除しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「医療器材事業」セグメントにおいて、サンセイ医機株式会社の株式取得時における取得原価が取得した資産及び引き受けた負債に配分された純額を上回ったため、その超過額をのれんとして認識しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、347,178千円です。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。